

高等学校 令和6年度（1学年用）

教科：芸術 科目 美術 I

教科： 教科：芸術 科目： 美術 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（光村出版「美術 I」）

教科 教科：芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身につける
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(創造的な技能・鑑賞の能力) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	(発想や構想の能力・創造的な技能) 造形的なよさや美しさ、表現の創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったりできるようにする。	(美術への関心・意欲・態度) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	映						
1 学 期	オリエンテーション エッグドロップ 【関】 グループ活動を通して、意欲的に作品制作に関わることができる。 【技】 課題に合った装置を考え作ることができる。	・授業の進め方、評価の付け方についての説明。 ・天井から生卵を落としても、卵が割れない装置をケント紙で作るグループ課題。	○	○			【関】 グループ内で意見を出し合い意欲的に課題に取り組むことができる。(授業態度・プリント) 【技】 どのようにしたら課題をクリアできるかを考え、工夫して装置を作ることができる。(作品)	○	○	○	6
	50ドローイング 【関】 ドローイングについて興味を持ち、自分の表現を模索することができる。 【発】 材料の組み合わせや描き方などを工夫して、より多くの表現方法を試すことができる。 【鑑】 他者の表現を鑑賞し、線を描くことの奥深さを感じることができる。	・絵の具・墨・クレヨンなどの画材や生活雑貨を用いて、スケッチブックに50枚以上のドローイングを描く。	○		○		【関】 様々な表現方法を試し、より多くドローイングすることができる。(作品) 【発】 材料の組み合わせや描き方などを工夫し、より多くの表現方法を試そうとしている。(作品) 【鑑】 友達の作品を鑑賞し、自分の作品制作に生かそうとしている。(プリント)	○	○	○	8
	キャンバス制作 【関】 50ドローイングを踏まえて、自分の表現を生かしつつ作品制作に取り組むことができる。 【発】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して描こうとしている。 【技】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して描くことができる。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、何を表現しようとしていたのか、また表現するためにどのような工夫があったのかを感じ取ることができる。	・キャンバスに絵の具と任意の素材を用いて、自分の好きなものを表現する。	○	○	○		【関】 自分が決めたテーマに合わせた表現方法を模索しより良い作品を作ろうとしている。(授業態度・プリント・作品) 【発】 自分の決めたテーマに合わせ、材料や描き方などを工夫して表現しようとしている。(作品) 【技】 自分の決めたテーマに合わせた表現方法を用いて制作することができる。(作品) 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、何を表現しようとしていたのか、また表現するためにどのような工夫があったのかを感じ取ることができる。(プリント)	○	○	○	10
2 学 期	テレビ番組を企画する 【関】 普段目にしていないテレビ番組の構成や番組セット、広告などをデザイン的な視点で見直し、表現の工夫を学ぶことができる。 【発・技】 架空のテレビ番組を企画し、企画した内容に適した表現をすることができる。 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現方法の豊かさを感じ味わうことができる。	・架空のテレビ番組の企画書を作成する。 ・プレゼンボードを作成する。 ・テレビ番組の舞台セットの模型を制作する。	○	○	○	【関】 普段目にしていないテレビ番組の構成や番組セット、広告などをデザイン的な視点で見直し、表現の工夫を学ぼうとしている。(授業態度・プリント) 【発・技】 架空のテレビ番組を企画し、企画した内容に適した表現をすることができる。(作品) 【鑑】 他者の作品を鑑賞し、表現方法の豊かさを感じ味わうことができる。(プリント)	○	○	○	26	
3 学 期	美術史 【関】 日本・西洋・近代美術史に興味を持つことができる。 【鑑】 名作を鑑賞し、表現の面白さを味わうことができる。 【技】 名画の模写を通し、より本物に近い表現に近づけることができる。	・美術史について学び、レポートをまとめる。 ・名画を鑑賞する。 ・名画を模写する。	○		○	【関】 日本・西洋・近代美術史に興味を持つことができる。(授業態度・プリント) 【鑑】 名作を鑑賞し、表現の面白さを味わうことができる。(プリント) 【技】 名画の模写を通し、より本物に近い表現に近づけることができる。(作品)	○	○	○	20	
							合計				70